

独立行政法人農畜産業振興機構の平成22事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、独立行政法人評価委員会による平成22年度の総合評価が「A」評価であったこと等を踏まえ、任期満了に伴う交替以外の役員人事は行わなかった。
----------	---

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	平成23年度中に支給した役員の退職手当については、農林水産省独立行政法人評価委員会が決定した業績勘案率1.0に基づき、増額又は減額することなく支給した。
----------	--

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	22事業年度評価における主な指摘事項	平成23及び24年度の運営、予算への反映状況
業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	<p>○ 機構は今後、独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針を踏まえ、法人の中期目標・中期計画が変更され、平成24年度までに地域・学歴を勘案した対国家公務員指数を国家公務員と同程度とするとされたことから、職員のモチベーションを維持しつつ、更なる取組を進めることにより計画の確実な達成に努められたい。</p>	<p>【平成23年度】</p> <p>○ 人件費については、給与水準及び管理職手当の引下げ、ポストオフ、管理職への昇格抑制等の取り組みにより、年度計画に設定した目標を上回る削減を行った。この結果、職員の給与水準の地域・学歴を勘案した対国家公務員指数は、平成18年度の114.1から10.5ポイント改善され103.6と年度計画に設定した目標を上回る削減となり、着実な引き下げを図っている。</p> <p>【平成24年度】</p> <p>○ 引き続き、給与水準の見直しを行い、平成24年度までに国家公務員と同程度になるよう、中期計画に即した削減を図ることとしている。</p>